

# 神野浜漁業組合文書

(採訪時住所 京都府熊野郡神野村)

目録番号	年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考	整理番号
1	明治36	1903			3		明治三十六年創立 大正十年四月別冊二改訂 組合員名簿	神野浜漁業組合印		縦帳	1		1
2	1 明治43	1910			8	17	熊野郡久美浜湾 専用漁業免許状	熊野郡 神野浜漁業組合印		縦帳	1	「明治四十二年十二月十日免許」	2 1
2	2						(漁場図)			舗	1		2 2
2	3						(専用漁業漁場図添書)	(明治四十三年八月十七日写之)木村主任書記印		舗	1		2 3
3	1 明治44	1911			8	2	漁業組合同規約	熊野郡 神野浜漁業組合印		縦帳	1	「久美濱漁業組合」、「熊野郡神野村役場」罫紙用箋	3 1
3	2 大正10	1921			11	22	京都府漁業取締規則	京都府水産講習所		縦帳	1	3-1に挟み込まれていた	3 2
4	1 明治45	1912			3		漁業組合登記書類(明治36年から昭和10年迄,登記関係書類綴)	神野浜漁業組合印		綴帳	1	「京都府」、「神野濱漁業組合」、「熊野郡神野濱漁業組合」罫紙用箋	5 1
4	2 昭和5	1930			4	25	(神野郡神野浜漁業組合 臨時総会決議録外)	神野浜漁業組合 議長理事 平林傳治		切紙	1	(4-1に挟み込み)縦帳の一部 9, 8枚, 「熊野郡神野濱漁業組合」罫紙用箋	5 2
5	明治45	1912			7	8	記録(明治45年~昭和10年迄の漁業組合同行事・決定事項等につき)	神野浜漁業組合		縦帳	1	「(屋号) 中井製」、「久美濱(石田書店販賣)」、「神野濱漁業組合」罫紙用箋	4
5	1 大正5	1916			8	10	納入告知書(大正5年度,鰻筒漁業料,金5円につき)	神野濱漁業組合理事 松本 廣吉印	字神崎 中村咲藏納	単票	1	5に挟み込まれていた	4 1
5	2 大正6	1917			6	1	納入告知書(大正5年度下半期,鰻筒漁業料,金5円につき)	神野濱漁業組合理事 松本 廣吉印	字 中村咲藏納	単票	1	5に挟み込まれていた	4 2

目録番号	年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考	整理番号
6							封筒(「京都府熊野郡 神野村役場文書 1951.3 寄託」とあり)			封筒	1	「水産庁資料整備委員会 日本常民文化研究所」茶封筒	6
7							便箋(「京都 寄託 神野村役場文書五冊」とあり)			便箋	1	「水産庁資料整備委員会 日本常民文化研究所」罫紙用箋	7

## 解題 神野浜漁業組合文書

### －史料の概要と特色－

「神野浜漁業組合文書」（以下「神野浜文書」と称す）は、京都府熊野郡神野村（現京都府京丹後市久美浜町）の役場に所蔵されていた文書で、昭和 26(1951)年 3 月に採訪され、現在独立行政法人水産総合研究センター中央水産研究所に保管されている。ちなみにこれについての『漁業制度資料目録』（第 6 集、全国偏Ⅳ、日本常民文化研究所・水産庁資料整備委員会、1952 年 5 月）が刊行されている。

神野村（以下神野浜と称す）は、東は一帶の山脈をもって本郡田村に境し、西は久美浜町に接し、南は本郡海部村に隣り、北は久美浜湾に面し一部湊村に接している（『熊野郡誌』）。そしてこの神野浜は、熊野郡の東北部に位置し、甲山村・浦明村・神崎村・鹿野村の四村より成り、明治 22（1889）年創立（合併）し、昭和 30（1955）年に久美浜町、さらに平成 16（2006）年に京丹後市となった。ちなみに、この神野浜は、京都府漁協湊支所の和田市郎氏によると、甲山（現在甲山の家々の多くは農業をやっている）あたりにあった可能性が高い、という。

また神野村浜における漁業は、「自然の恩恵たる久美浜湾に面せるを以て、四時漁獲の便宜を有せると、淡水産としては字甲山なる蓮池を有するより、年産額少からず、且つ漁業組合を設け、養殖等に対し多少経営する処あり、殊に本村の漁業は農閑期を利用せる漁業にして、漁業を本業とせるものは洵に僅少なり」（『熊野郡誌』）といったように、この村においては、漁業より農業の方が盛んであったようであるが、鮭や金樽鰯（マイワシ）漁、昭和 11(1936)年頃からは牡蠣の養殖が行われている。

さて、この「神野浜文書」は現在 11 点で、これは帳簿等に挟み込まれていた史料を新たに目録に加えたことによる。それらを次に掲げる。

- 明治 36(1903)年 3 月 日 明治三十六年創立大正十年四月別冊ニ改訂組合員名簿(目録番号 1)
- 明治 43(1910)年 8 月 17 日 熊野郡久美浜湾 専用漁業免許状(目録番号 2-1)
- (漁場図《目録番号 2-2》)
- (専用漁業漁場図添書《目録番号 2-3》)
- 明治 44(1911)年 8 月 2 日 漁業組合規約(目録番号 3-1)
- 大正 10(1921)年 11 月 22 日 京都府漁業取締規則(目録番号 3-2)

- 明治 45(1912)年 3 月 日 漁業組合登記書類(明治 36 年から昭和 10 年迄、登記関係書類綴《目録番号 4》)
- 昭和 5(1930)年 4 月 25 日 (神野郡神野浜漁業組合臨時總會決議録外《目録番号 4-1》)
- 明治 45 年 7 月 8 日 記録(明治 45 年から昭和 10 年迄の漁業組合行事・決定事項などにつき《目録番号 5》)
- 大正 5(1916)年 8 月 10 日 納入告知書(大正 5 年度、鰻筒漁業料、金 5 円につき《目録番号 5-1》)
- 大正 6(1917)年 6 月 1 日 納入告知書(大正 5 年度下半期、鰻筒漁業料、金 5 円につき《目録番号 5-2》)

以上明治 36 年から大正 10 年迄のものである。特に鰻筒漁業は、現在も、竹筒を二つ括って延縄式で連ねて、内湾の中で行っている。また、「熊野郡久美浜湾専用漁業免許状」を見ると、鱸・黒鯛・鱈・鰺・蛤・牡蠣などの漁を行っていたことが記入されている。このように、すべて神野浜漁業組合に関する文書だが、明治 43 年「専用漁業免許状」や「専用漁業漁場図」、さらに「鰻筒漁業料」など、神野浜における漁業に関する史料が僅少ながら含まれている。

(文責 岩田康志)